

ふるさと

すーさん遺稿集



内 容

☆お国自慢発表会講演：石川県・金沢市
☆「ふるさと」投稿・6編
第3号、第6号、第9号、
第12号、第13号、第16号
☆懇親会・写真集

発行：2018年7月8日(臨時増刊)
発行：麻生ふるさと交流会事務局
担当：平塚 征英 横田 彰夫

麻生ふるさと交流会

麻生ふるさと交流会会報「ふるさと」

故鈴木毅様の講演及び投稿一覧

*各投稿のページは、「ふるさと」各号のページです。

【第3号】 2014/3/1

投稿：もう一度聴きたいメールメロディー メル友・吉森教授様

【第4号】 2014/4/29

講演；ふるさとお国自慢：石川県と金沢市

【第6号】 2015/1/17

投稿：金沢のお正月（歴史、伝統、文化、グルメ）

【第9号】 2015/7/11

投稿：北陸新幹線で加賀百万石の古都の魅力を

【第12号】 2016/3/13

投稿：北陸新幹線で加賀百万石の古都の歴史・伝統を

【第13号】 2016/4/29

投稿：北陸新幹線で古都・加賀百万石の伝統文化・加賀料理を！

【第16号】 2017/2/18

投稿：加賀百万石のグルメや伝統民芸

【懇親会写真集】 2013/7/14～2017/4/15

もう一度聴きたいメールメロディー メール友・吉森教授様

鈴木 毅

テーブルの携帯電話からCメールのメロディーが鳴るとはっとします。

もう吉森教授からのメールは届かないのだ。

Cメール受信はほとんど吉森教授か妻だった。(妻からはたまにだ。)

今も忘れない教授よりのCメール 絵文字もない几帳面な文章。

1 2月3日 23:24 23:50 23:56

1 2月4日 19:26 20:21 22:49 23:06

1 2月5日 14:21

その後やまゆりで澤田さんと3人で蕎麦打ちの打ち合わせをしたのが吉森教授との最後の思い出です。

時々メールを頂きました。打ち合わせ後つづらおなどで色々話もしました。

教授は大学のこと、学生のこと、海外での授業のこと、また宇宙、星、自然など。私は会社時代のこと、金沢のこと、親父のこと、先祖のことなど。

本当に話し好きで、8割は教授が話していました。いろいろ何でも知っていて感心しました。いつもいつの間にか時間が過ぎていきました。

携帯電話の吉森教授からの受信欄を見るたび思い出と、悲しみがこみ上げ、どうしても消せません。

宇宙が好きだった吉森教授。オリオン座から、ふたご座から、おとめ座から、シリウス星から、もっともっとはるかな宇宙から、もう1度 もう1度 教授の着信メロディーを私に聴かせてください。もう1度。

(さんさん会)

ふるさと第3号の表紙について (吉森さんの思い出)

ふるさと第3号表紙の絵は、故吉森事務局長が昨年10月の第2号作成時に準備されたものです。その時には、第2号に使った写真と今回第3号で使った日下部さんの絵の二つをメールで送って下さいました。

日下部さんは、余り目立ちすぎるので・・・と、使用することを固辞されていたので、吉森さんは、“いずれ日下部さんの絵は使える時がくると思いますので、私は、今回は諦めました。”とコメントされました。

このたび吉森さんが突然お亡くなりになられて本当に残念ですが、10月のメールが吉森さんのご遺志と思われまして、日下部さんに使用することをお願いし、了承を得た次第です。

(編集担当：平塚)

第3回麻生ふるさと交流会：報告

場 所：麻生市民交流館 やまゆり

日 時：平成26年1月18日(土)

15時30分～19時00分

第2部：交流と懇親を深める会（司会 辻村一男さん）

懇親会は松本会長の音頭で乾杯し、差し入れの飲み物食べ物で大変盛り上がりしました。今回も会員有志の方々より、色々と沢山の差し入れを頂戴しました。（敬称略）

お酒

宗玄、立山、吉乃川、八海山、白鶴、福寿、ドン・ルチアール（ワイン）、赤霧島（焼酎）…鈴木・吉田・飯塚・千葉・平松・阪神間G・田中（元）・宮本



第4回麻生ふるさと交流会：報告

場 所：麻生市民交流館 やまゆり

日 時：平成26年3月1日(土)

15時30分～19時

第1部の2：北陸グループの皆様による「ふるさと自慢」

北陸グループは、石川県出身の鈴木毅さんと、富山県人会の松本良樹・高橋武彦さんの発表でした（出身地ではなく、転勤地だそうです）。

前半は、鈴木さんの熱弁でした。開口一番、“すーさんです！”。家宝の紹介も。



すーさんです！



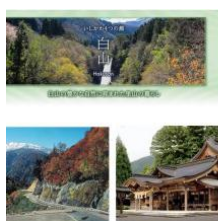
石川県と金沢市



石川の4つの顔 ① 能登



② 金沢



③ 白山



④ 加賀



美術館・博物館・記念館



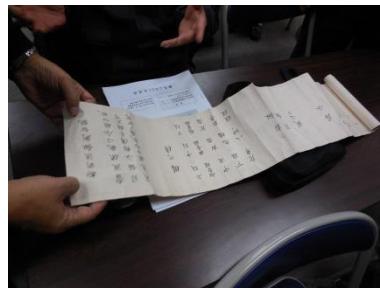
金沢の歴史



金沢城公園



鈴木家の家宝 槍の穂先



古文書



勲章

【懇親会】

今回も会員有志の方々より、色々と沢山の差し入れを頂戴しました。(敬称略)

お酒

宗玄、立山、佐渡の生原酒(至)、甘酒、
雪中梅、赤ワイン、白ワイン
…鈴木・北陸G・吉岡・宮本
・平塚・田中元・千葉



【特集：ふるさとのお正月】

金沢のお正月（歴史、伝統、文化、グルメ）

鈴木 毅

奥の部屋から祖母の加賀宝生（加賀藩五代藩主前田綱紀が奨励）の謡曲「高砂」「羽衣」「武蔵坊弁慶：これやこの さいとうのかたわらに～」などが聞こえてくる。

祖母は軍人の妻を意識していたのか、気丈で枕元に懐刀が置いてあるのを見て、幼い頃びっくりしたものである。

元日は祖母と隣に住む次男家族が集まり、おせち料理と加賀料理のかぶら寿し（千切りしたかぶの間にぶりを挟む）、大根寿し、鮎の甘露煮、ごりの佃煮、治部煮（金沢独特の生すだれ麩が入る）、また、どう言う訳か筑前風の根菜中心の煮物と香箱がに（ずわいがにの雌）がいつもあった。

お酒は：加賀金箔の金粉いり宗玄のぬる爛の美酒。

つまみは：巻ぶり、ふぐの粕づけ、こ糠いわし、このわた、舳倉島の天然岩がきなど…少し塩分が多いかな。

お雑煮は：極めてシンプルで、角形ののし餅となると巻きとせりまたはみつばのうす醤油味のお吸い物です。

二日目は金沢に住む親戚も集まり、おせち料理、加賀料理、おつまみ、金沢の美酒で宴会状況。

いところなど子供も集まり

お正月のお菓子は：福梅（前田藩の家紋である剣梅鉢をあしらった最中）

千歳（紅白のまぶしで富士山の朝焼け、雪景色を包んだ和菓子）を頂きました。

お正月の金沢の遊びは

旗源平：赤旗の平家と白旗の源氏に分かれてサイコロ2個を転がしお互いに旗を取り合うゲーム。金沢の独特のもので、最近はあまり見ない。

百人一首：一般的ではあるが、金沢ではよく行われており、私の中学校でも大会がありました。



巻ぶり



福梅



旗源平

北陸新幹線で加賀百万石の古都の魅力を

ふるさとを愛する 鈴木 毅

加賀百万石金沢へのアクセスが、北陸新幹線の開業により、より身近になりました。2時間半で古都金沢の観光、街並を楽しめます。

金沢は空襲にあわず、古い建造物、歴史、伝統、文化、グルメが昔のまま残っています。一般的な観光地（兼六園、石川門、東茶屋街、21世紀美術館）などはすでに観光済みと思いますので、別の金沢の面をご紹介します。



新幹線車両：E7系・W7系



金沢駅兼六園口（東口）



鼓門・もてなしドーム

1. 金沢の美術館・博物館・記念館・資料館など

石川県立美術館、金沢市足軽資料館、金沢市西茶屋資料館、石川四高記念文化交流館、鈴木大拙記念館、金沢市老舗記念館、金沢蓄音器館、泉鏡花記念館、石川県立伝統産業工芸館、金沢能楽美術館、加賀友禅伝統産業館、金沢文芸館、金沢異人館、金沢市立安江金箔工芸館、前田土佐守家資料館、石川金沢港大野からくり記念館、町民文化館、室生犀星記念館、徳田秋声記念館など

お奨め 藩老本多蔵品館（所蔵品1000点、豊臣秀吉の村雨の壺など）

成巽閣(前田家13代斎泰が12代奥方に対し細やかな心配りの御殿)

石川県立歴史博物館



藩老本多蔵品館



成巽閣



石川県立歴史博物館

2. 寺社仏閣

市内には神社が330余り、仏教寺院が390余りある。

浄土真宗の寺院が210寺立つ。その内192寺が真宗大谷派である。

寺院：卯辰山山麓寺院群（全性寺、護国寺など）

小立野寺院群(天徳院…からくり人形、宝円寺、経王寺、妙喜寺など)

寺町寺院群（大連寺、妙立寺…忍者寺、伏見寺、西芳寺など）

大乘寺 野田墓地には歴代の藩主、奥方の墓所がある。

神社：金沢五社（宇多須神社、小坂神社、神明宮、椿原天満宮、安江八幡宮）

主な神社…尾山神社(重要文化財)、尾崎神社(重要文化財)、石川護国神社
大野湊神社、石浦神社、豊国神社、金沢神社、久保市乙剣宮
波自加弥神社、中村神社、大野日吉神社、など



尾山神社



尾崎神社



金沢神社

3. 歴史 加賀騒動（享保8年(1723)～）

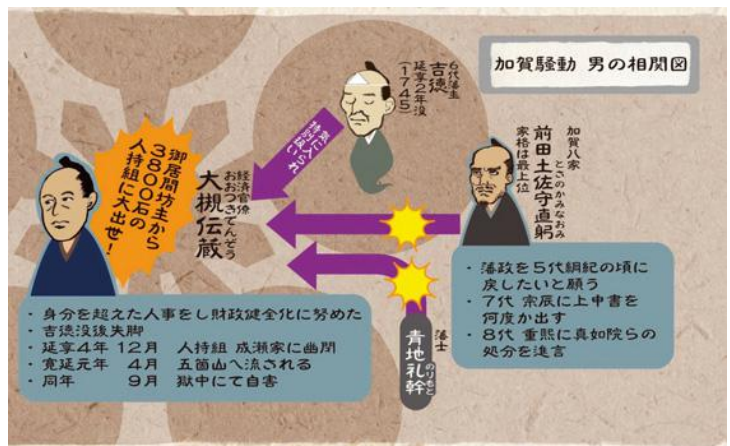
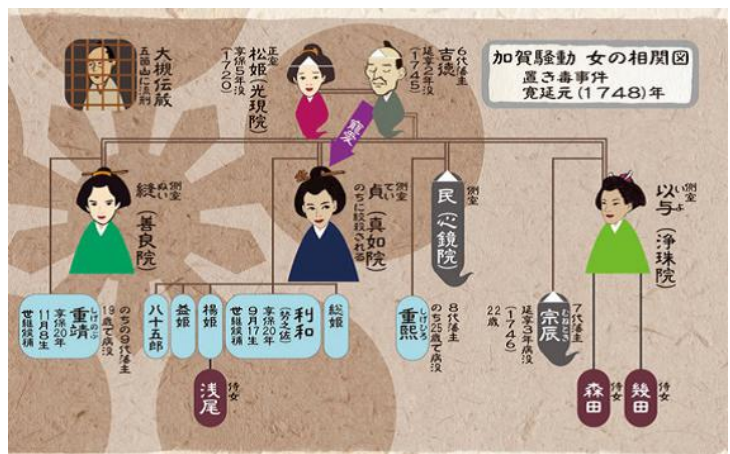
第6代藩主となった前田吉徳は、足軽の二男で御居間坊主にすぎなかった大槻伝蔵を側近として抜擢し、儉約等財政改革を進める事としたが回復せず、しかも吉徳が大槻を厚遇したことで重臣達と対立した。

延享2年(1745)大槻を支えた吉徳が病死し、長男宗辰が第七代藩主となり、大槻は蟄居して禄を没収され、越中五箇山に配流となる。宗辰は藩主に就いてわずか1年半で病死し、異母弟の前田重熙が第八代藩主を継いだ。

ところが延享5年の6月26日、7月4日に、藩主重熙と浄珠院への毒殺未遂事件が発覚する。浄珠院は宗辰の生母であり、重熙の養育も任されていた。藩内で捜査した結果、これは奥女中浅尾の犯行であり、さらにこの事件の主犯が吉徳の側室真如院であることが判明。真如院の居室より大槻からの手紙が見つかり、不義密通の証拠となった。

大槻は五箇山で自害、浅尾も殺害され、真如院は自ら絞殺を望み殺された。しかも幕府の介入もなく客観的事実を示す証拠も乏しい。

真相は闇のままスキャンダダラスな事件として強調された。



北陸新幹線で加賀百万石の古都の歴史・伝統を

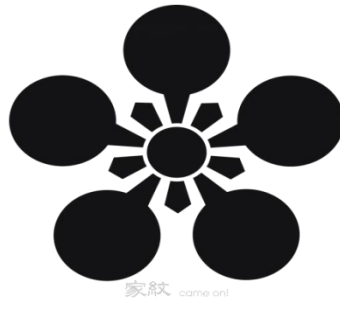
鈴木 毅

北陸新幹線開業で金沢まで2時間半と便利になりました。加賀百万石の歴史、伝統、文化、グルメ等味わい尽くしましょう。

今回は加賀百万石の加賀藩前田家を中心にお話しします。



北陸新幹線



前田家家紋



雪つり兼六園(5代綱紀)

1. 概要

加賀国石川郡にある金沢城に居城。藩主の前田氏は外様大名ではあるが、徳川将軍家との姻戚関係が強く準親藩の地位が与えられ、松平姓と葵紋が下賜された。

大名中最大の102万5千石を領し、同侯席も徳川御三家や越前松平家などが詰める大廊下である。他の外様大名は大広間であり、御三家に準ずる待遇で、一国一城令が布告された後に小松城の再築が許されて一国二城となるなど、他の大名とは別格の扱い。

2. 歴史

織田信長によって能登一国を与えられていた藩祖前田利家が、天正11(1583)年の賤ヶ岳の戦いの後、豊臣秀吉に降って加賀2郡、さらに天正13(1585)年には佐々成政と戦った功績によって、嫡子利長に越中西三郡が与えられ、3国にまたがり100万石を領する前田家領の原型が形成された。



前田利家

慶長5(1600)年関ヶ原の戦いに際して東軍に組し、三ヶ国120万石に及ぶ所領を獲得した。のちに第三代利常が隠居するとき、次男に越中富山藩10万石、三男に加賀大聖寺藩10万石をそれぞれ分与し102万5千石となる。

3. 前田家歴代藩主

藩祖、1代利家、2代利長、3代利常、4代光高。5代綱紀、6代吉徳。7代宗辰、8代重熙、9代重靖、10代重教、11代治脩、12代斎広、13代斎泰、14代慶寧。

正室松姫に先立たれた6代藩主吉徳は、まだ若く精力絶倫タイプで9人の側室を置き、7代藩主から10代藩主までを藩主にした。

4. 前田家藩主の正室

利家の正室お松（芳春院）は3代利常の時、徳川家の人質として江戸に住み加賀藩を守る。

2代利長の正室は織田信長の娘永子

3代利常の正室は珠子（天徳院）で徳川家光の姉

4代光高の正室は家光の娘阿智子

5代綱紀の正室は会津保科家の藩主正之の娘摩須子

3代利常の娘富は天皇家八条宮智忠親王に嫁いでいる。



お松(芳春院)



珠姫の寺 天徳院

5. 加賀藩の職制

加賀藩の最高の家格は「年寄」で加賀八家と呼ばれ、藩の最高決定機関として合議制で藩政を運営した。

6. 加賀八家

本多家(5万石)、長家(3万3千石)、横山家(3万石)、前田土佐守家(1万1千石)、前田対馬守家(1万8千5百石)、奥村家(1万7千石)、奥村家支流(1万2千石)、村井家(1万6千5百石)で1万石以上の知行を持っています。

7. 軍政面、行政面での役職

人持7組の組頭（軍団長）や金沢城代、小松城代を務めます。行政面では幕府との交渉や、藩内の人事、財政の運営、藩校の運営など。

月番、加判の職があり、月番とは月ごとに交代で藩政を担当すること、加判は藩政の審議に参加して、月番が起草した書類に署名することです。

8. 人持

上士身分に相当し68家あり、人持七手と言われ7組で組織されました。

石高は1千石から1万4千石の家がありました。

人持組から家老、若年寄が任命され、家老は年寄を補佐する。

寺社奉行、御算用場奉行、公事場奉行、近習御用、定火消役、奏者番などを務める。

9. 平士

中士身分に相当し、80石から2千4百石の約1400家あり、御馬廻、定番御馬廻、組外、小將の組があり、各組には組頭と番頭がいます。

他に新番組として人持、平士の子弟で武芸に優秀な者が所属し、殿様の護衛役を務める。

10. その他の家臣

平士並（御医者、御料理頭、御坊主頭）、与力約 300 家 60 石～350 石で、奉行の補佐、御歩（おかち）約 300 家あり殿様の行列の護衛や、雑用を務める。

御歩並約 400 家、軽輩として足軽、中間、小者で足軽でも加賀藩は敷地 59 坪の庭付き一戸建を与えられた。



武家屋敷

11. 俸禄(給料)

身分の高い藩士は藩から領地を与えられる知行とり、身分の低い藩士は切米といって、藩の米蔵から米を数回に分けて支給されました。加賀藩は春と年末の 2 回。

12. 知行取りと切米

知行取り：例えば、200 石の知行取りというのは、米 200 石が生産される領地を与えられる。地主や領主ではなく、生産者からの年貢が貰えるというだけです。

当然ながら 200 石全てが与えられる訳ではなく、仮に四公六民とすれば 40%の玄米 80 石が貰え、あとの 120 石は領民の取り分となる。年貢率の決定や年貢の収納などの行政は藩が全て行い、藩士は自分の取り分を受け取るだけ。この代行作業を行うのが加賀藩の事務機構である御算用場でした。

切米：切米取り 40 俵といえは玄米 40 俵を春と年末の 2 回に分けて支給される。現代では米 1 俵は 4 斗（0.4 石）ですが、加賀藩の 1 俵は 5 斗（0.5 石）も入っていたそうです。

だとすると加賀藩の切米 40 俵は 20 石に相当します。米の価格は時代によって変動しますが、江戸中期の 1 石＝金 1 両とすると、200 石の知行取りは、食い扶持 10 石を残すと 70 両の年収となります。

13. 野田山・加賀藩主前田家墓所

野田山墓地は、金沢城から直線距離にして南西約 3.5 キロ離れた所に、広がる一大霊園地です。野田山は標高約 175m を測り、墓地の総面積は 43 万平方 m で、加賀藩墓域内には 80 基の墓が建てられています。兼六園の約 4 倍の広さがあります。

藩祖前田利家の兄利久が、この地の山頂近くに葬られたのが、野田山墓地の始まり。利家以降、歴代藩主とその正室が野田山に葬られました。

前田家墓所の周囲には家臣の墓が造られ、のちには町人の墓も立ち並び、現在の野田山墓地となりました。現在では加賀藩主前田家墓所は成巽閣が管理しています。

野田山墓地の最も標高の高い一角に、加賀藩主前田家の歴代当主を初めその正室、子女など近親者たちが眠っています。

前田家の墓はいずれも土を高く盛り上げた土饅頭形式で、藩主と正室の墓は四角形の土壇を階段状に重ねた外観。墓の周囲には溝を廻らせ、大きさも利家墓で一辺約 19 m、他の藩主墓でも約 16m ある。



前田利家のお墓

14. 江戸の加賀屋敷

大名たちは参勤交代制の確立に伴って、幕府から江戸市中に土地を拝領し、大名屋敷を造営するようになりました。

現在の東大本郷キャンパスの敷地は、かつて加賀藩前田家の上屋敷でした。東大の赤門が前田家上屋敷の正門そのものであった。文政10(1827)年、加賀藩13代藩主前田斎泰は、11代将軍徳川家斉の娘溶姫を正室に迎えるのに当たり、慣例に従い朱塗りの門を創建した。加賀前田家の本郷上屋敷は約10万4千坪(東京ドーム7.3個分)もあった。



東大赤門

板橋区にある加賀公園は、その昔加賀藩前田家下屋敷があった。敷地は22万坪、明治神宮と同じ宏大な敷地でした。この板橋の下屋敷はなんと東京ドームの15倍。

駒場にも別邸があり、それが東大の駒場キャンパスとなった。

加賀藩と東大は、よっぽど結びつきが深いのですね。

今回は金沢の伝統、文化、加賀料理、お菓子、珍味、日本酒、金沢の歌等を話します。

北陸新幹線で古都・加賀百万石の伝統文化・加賀料理を！

鈴木 毅

北陸新幹線(かがやき)で2時間半、金沢がグーンと近くなりました。
伝統文化・老舗料亭・加賀料理・加賀野菜・海産物・地酒など味わいつくしましょう。

- 1 伝統文化 加賀宝生 加賀獅子舞 加賀鳶
伝統産業 金沢金箔 加賀友禅 九谷焼 大樋焼 加賀象嵌 金沢漆器 加賀水引
郷土玩具 加賀人形 獅子頭 加賀八幡起き上がり 金箔あぶらとり紙ほか



獅子頭



加賀友禅



加賀八幡起き上がり



加賀水引



加賀宝生



加賀鳶



第10代大樋焼窯

2 加賀料亭

- ◇ 金茶楼: 前田藩家老横山男爵の別邸。昭和8年創業
- ◇ 杉の井: 犀川のほとり、明治末期の別宅
- ◇ つば甚: 宝暦2(1752)年創業
- ◇ 大友楼: 天保元(1830)年創業
- ◇ 北間楼: 文久2(1862)年創業。樹齢 200 年の柗木犀あり
- ◇ 魚半: 市内に4店舗あり
- ◇ 石亭: 浅田屋グループ、石川県に十数か所あり
- ◇ 銭屋: 片町にあり。21 世紀美術館、兼六園に近い。

金沢家庭料理。

- ◇ つる幸: 金沢懐石料理
- ◇ 金城楼: 金沢の歴史とともに創業 110 年余り
- ◇ 壽屋: 金沢町屋料理。建物は古い



つば甚



金茶楼

3 加賀料理

- ◇ かぶら寿し、ゴリ料理、治部煮
- ◇ 鯛の唐蒸：鯛に卵の花を詰めて蒸揚げた料理
- ◇ えびす：生姜の入った寒天のだし汁に溶き卵流し固めた料理
- ◇ 鱈の白子、巻ぶり
- ◇ 大根寿司、笹寿司、くるみの佃煮、河豚の卵巣の糠づけ 他



えびす



河豚の卵巣の糠づけ



鯛の唐蒸

4 加賀和菓子老舗

- ◇ 加賀和菓子老舗…森八、福江屋、俵屋、柴舟小出、金沢浦田、室町製菓、中田屋、村上他
- ◇ 和菓子…愛香菓、あんころ餅、福梅最中、鬼ぐるみ佃煮最中、加賀藩の最中、金平糖、くるみ松風、黒羊羹、芝舟、じろ飴。千歳、長生殿、月よみ山路、辻占きんつば、花うさぎ、氷室饅頭、福梅、福德せんべい、わり氷ほか



長生殿（日本三銘菓）



花うさぎ



中田屋きんつば

5 加賀野菜

- ◇ 打木赤皮甘栗かぼちゃ、源助だいこん、五郎島金時、二塚からしな、加賀せり
加賀たきゅうり、加賀つるまめ、ヘタ紫なす、加賀れんこん、金沢一本太ねぎ
別所たけのこ、金時草、赤ずいき、加賀くわい、金沢春菊

6 海産物

- ◇ 甘えび、加能ガニ、寒ブリ、巻ぶり、からすみ、香箱ガニ(ズワイガニの雌)、メギス、ふくらぎ、舢倉島の岩ガキ。いわし糠づけ、ふぐの粕づけ、舢倉島岩のり、バグロ



香箱ガニ

7 石川の日本酒ランキング

- 1天狗舞(車多酒造)
- 2菊姫(菊姫)
- 3手取川(吉田酒造店)
- 4常きげん(鹿野酒造)
- 5加賀鳶(福光屋)
- 6宗玄(宗玄酒造)
- 7奥能登の白菊(白菊酒造店)
- 8遊穂(御祖酒造)
- 9獅子の里(松浦酒造)
- 10黒帯(福光屋)

8 石川県地酒・酒造(蔵元)

- ◇ 久世酒造店:創業天明6(1786)年。主銘柄…能登路、長生舞
- ◇ 武内酒造店:日本でも有数の小さな蔵元。銘柄…御所泉
- ◇ 中村酒造 :文政年間、江戸後期。銘柄…日栄、石川門、加賀太
- ◇ 福光屋 :寛永2(1625)年創業。銘柄…福正宗、加賀鳶、黒帯、鏡花
- ◇ やちや酒造:天正 11(1583)年前田利家公のお供で尾張より移住、寛永5(1628)年創業。380 余年の歴史。銘柄…加賀鶴
- ◇ 吉田酒造店:明治3年創業。主銘柄…手取川正宗、友白髪
- ◇ 金谷酒造店:霊峰白山の源流。銘柄…高砂、兼六正宗、石川門
- ◇ 菊 姫:加賀の菊姫として太閤記にも千有余、白山比詠神社と縁あり。銘柄…菊姫
- ◇ 小堀酒造店:江戸享保年間 1716 年創業。銘柄…萬歳楽、あらばしり、白山
- ◇ 車多酒造 :文政6(1823)年より天狗舞を造り続ける。他に五凜、天
- ◇ 御祖酒造 :霊峰石動山のふもと。銘柄…遊穂、ほまれ
- ◇ 見砂酒造 :慶応年間創業、昭和 36 年能登の霊峰宝達山の麓に。銘柄…朱鷺の里、粋匠
- ◇ 鳥屋酒造 :大正8(1919)創業、能登の小蔵元。銘柄…池月のみ
- ◇ 布施酒造店:明治9年より 120 年、5年 10 年古酒。銘柄…能登風土の里、天平寺、天
- ◇ 加 越 :霊峰白山の伏流水。銘柄…加賀の月、関白、加賀吟醸
- ◇ 鹿野酒造 :蓮如上人の白水の井戸の湧水。銘柄…常きげん、風神、雷神
- ◇ 西出酒造 :元米穀商、大正2年清酒製造業に転業。銘柄…春心、裕恒
- ◇ 手塚酒造場:大 10(1921)年と新しい。銘柄…御幸誉、菊鶴、E-SPACE
- ◇ 橋本酒造 :銘酒大日盛創業以来 230 余年。銘柄…十代目、大日山、加賀の峰
- ◇ 東酒造 :万延年間創業、古い小蔵元。銘柄…神泉、蛭舞
- ◇ 松浦酒造 :年間総生産石数約 800 石、小蔵元。銘柄…獅子の里、無垢
- ◇ 宮本酒造 :明治9年創業。銘柄…無醸、福井県内唯一の芋焼酎製造所
- ◇ 農口酒造 :約 150 年の歴史蔵元、27 回の金賞。銘柄…農口ほとんど
- ◇ 数馬酒造 :江戸時代は味噌・醤油醸造、能登の杜氏。銘柄…竹葉、奥能登、能登純米
- ◇ 櫻田酒造 :大正5(1915)年創業。銘柄…初桜、大慶、能登美人
- ◇ 清水酒造店:文久2(1862)年創業。創業者も杜氏。銘柄…能登誉、千枚田
- ◇ 宗玄酒造 :明和5(1768)年創業。銘柄…宗玄、見附島、能登乃国
- ◇ 鶴野酒造店:創立 200 有余年、奥能登の地酒。銘柄…谷泉、春蘭の里、直蔵
- ◇ 中島酒造店:奥能登輪島の地で地元の米・水・人で少量生産。銘柄…末廣、伝兵衛、能登国
- ◇ 中野酒造 :元治元年総持寺開祖螢山禅師による霊泉で。銘柄…亀泉、鐘の里、飛泉
- ◇ 日吉酒造店:大正元年創業。輪島朝市通り面す。銘柄…白駒、輪島朝市、ささのつゆ
- ◇ 中納酒造 :嘉永2(1849)年創業。軽い口当たりで女性に人気。銘柄…金紋若緑
- ◇ 白藤酒造店:享保7(1722)年廻船問屋創業、江戸末期酒造業。銘柄…白菊
- ◇ 松波酒造 :元治元年、金七興十郎が創業。銘柄…大江山、つづらの波、金の星



9 金沢の歌謡曲

あゝ金沢城(三橋美智也) あゝ前田利家公(藤間大助) 浅野川慕情(竹下景子)
女の金沢(三島敏夫) 加賀の女(北島三郎) 金沢加賀人形(金沢景子)
金沢情話(三条正人) 金沢の雨(城ノ内早苗) 金沢の雨(川中美幸)
金沢のひと(森雄二) 金沢の夜(都はるみ) 金沢ブルース(加賀ひとみ)
金沢望郷歌(松原健之) 香林坊節(父2) 香林坊ブルース(西田佐知子)
桜橋から(松原健之) 青春の旅(芹洋子) 花紀行(荒井由美)
ビュッフェにて(松任谷由美) 滝の白糸(石川さゆり) 友禅流し(牧村三枝子)

10文学

金沢にて(芥川龍之介) 義血侠血(泉鏡花) 予備兵(泉鏡花) 由縁の女(泉鏡花)
浅の川(五木寛之) 金沢望郷歌・ステッセルのピアノ・朱鷺の墓(五木寛之) 北の海(井上靖)
金沢殺人事件(内田康夫) さすらひ(尾山篤二郎) 名もなき道を(高橋治) 出帆(竹下夢二)
感傷的の事・光を追うて・町の踊り場(徳田秋声) 金沢の思ひ出(中原中也)
火にも水にも(深田久弥) ゼロの焦点(松本清張) 美しい星(三島由紀夫) 雪の喪章(水芦光子)
幼年時代・性に目覚める頃・杏つ子(室生犀星) 青い靴(森山啓) 病む月(唯川恵)
夜明け前に会いたい(唯川恵) 北陸冬景・北陸秋景(与謝野晶子) 金沢(吉田健一)
ボトルネック(米澤穂信) ステッセルのピアノ(五木寛之) 他

11映画・演劇・テレビドラマ

滝の白糸 加賀騒動 杏つ子 トラック野郎度胸一番星 白夜わが愛 恋する女たち
黒い家 大河の一滴 手紙 吉祥天女 しあわせのかおり ゼロの焦点 誘惑
武士の家計簿 利家とまつ〜加賀百万石物語 花嫁のれん 心の糸 まれ 他



雪の石川門



近江町市場



兼六園

北陸新幹線で旅する加賀百万石の歴史・伝統文化。・加賀料理など味わいつくしましたか？
有難うございました。 古都金沢でお待ちしています。

加賀百万石のグルメや伝統民芸

鈴木 毅

北陸新幹線「かがやき」で、東京から2時間半で加賀百万石の金沢に到着します。
加賀百万石金沢のグルメ等お楽しみください。

北陸新幹線「かがやき」



トピックス

「輝」: 七尾市出身
平成6年生まれ
193cm。163kg
1月場所8勝5敗 高田川部屋
「遠藤」 穴水町出身
応援よろしくお願いします。

関取・輝



【金沢駅構内にあるショッピングタウン百番街】

100を超える店舗が入っており、石川県のお土産
ゾーン「あん」と、スーパーコンビニ、ファッション
くつろぎ館など

金沢百番街 ⇒



【お酒ランキング】

- | | | |
|----------|------|-----|
| 1 天狗舞 | 車多酒造 | 白山市 |
| 2 菊姫 | 菊姫 | 白山市 |
| 3 手取川 | 吉田酒造 | 白山市 |
| 4 常きげん | 鹿野酒造 | 加賀市 |
| 5 加賀鳶 | 福光屋 | 金沢市 |
| 6 宗玄 | 宗玄酒造 | 珠州市 |
| 7 奥能登の白菊 | 白藤酒造 | 輪島市 |
| 8 遊穂 | 御祖酒造 | 鹿島市 |
| 9 獅子の里 | 松浦酒造 | 加賀市 |
| 10 黒帯 | 福光屋 | 金沢市 |

その他

日栄「中村酒造」10代目「橋本酒蔵」

奥能登「数馬酒造」亀泉「中野酒造」

蔵元主なお酒のラベル



【石川県酒造蔵元の中で私が好きなお酒は】

- 宗玄 奥能登清酒宗玄の創業は明和5年1768年
地元密着の酒造りに徹し力強い味とキレイ酒
- 常きげん 白山の清らかな伏流名水で、蓮如上人が
掘ったという「白水の井戸」の湧水を仕込み
水に使い、ふくよかな香りと味のキレイ。



白山

黒帯 酒米は山田錦と金牧綿を使用。
コク、ふくよか、キレ、品の絶妙なバランス
まろやかさ

能登の焼酎 鳥、能登ちよんがりぶし25度、
富士乃華、虎の涙。O. Henry
六十路 能登のムシ
能登産有機大麦で作ったふくよかな
香りのプレミアム焼酎

梅酒 能登の梅酒、加賀梅酒 石川県の主な
酒造では梅酒を製造している 天狗舞
菊姫、加賀鳶



【珍味】

くちこ: なまこの卵巣を塩漬けにし、干したもの
数十キロのなまこが必要で大変貴重

ふぐの子粕漬け: 石川県のみ製造許可されている
幻の珍味

白山堅豆腐の味噌漬け: 石川県の山里、白峰村の伝統食の
堅豆腐を特製の味噌に漬け込む

巻ぶり: 寒ブリを3枚に下す。12日間天然塩に漬けた後
塩抜き、ワラに巻いて吊るして乾燥

えびす: 郷土料理「えびす」又は「べろべろ」
正月・お祝料理。寒天をとかし、だし汁煮て溶かした
卵液を入れ冷やす。

かぶら寿し: 冬を代表する料理、かぶらに切り込みを入れ
寒ブリや人参などを挟んで発酵させたなれずし。



くちこ



巻ぶり

【お菓子、お土産】

金沢のお菓子、加賀のお菓子

森八; 長生殿、千歳、金花糖、金平糖、舞鶴

うら田; 加賀八幡起き上がり最中、さい川、愛香菓

石川; かつちん、くるみ松風、枕石、加賀の里

小出柴舟; 生芝舟、栗法師、山野草、千年樹、新草苑

中田屋; きんつば、鰐もなか、大柴舟、花綿ぼうし

諸江屋; 生落雁、花うさぎ、濃茶落雁、加賀宝生

室町製菓; 銘菓くるみ、金沢くるみ饅頭、かがやき

俵屋; じろ飴、あわあわ、おこし飴、飴ん子

圓八; 創業から270年、あんころ餅竹皮、どらやき

松葉屋; 寛永5年創業、那谷寺門前、月よみ山路、署預

他に 金澤福うさぎ 福うさぎ、雪づり

洋菓子

山代やたがらす塩ロール、クランベリーチーズタルト、烏骨鶏かすてら
加賀やきロール、大聖寺どら焼き、加賀やき巻ずし、加賀やきいなり
杉のこだま、塩キャラメルバウンドケーキ、加賀やき手提げ、しみみ
柴山トマトたこ焼き風包焼きタコソース、ふくら印のたらこのこ



銘菓くるみ



あんころ

加賀産梨と棒茶のバウンドケーキ、キャロットコロッセ、チョコ、焼菓子
 冷やしクリームパン、唐辛子チョコレート、加賀こがねいも、金箔
 能登半島のお菓子、食品

いしり; 自然発酵と熟成が決めての万能調味料
 海の仲間塩ゼリー; 塩が優しい可愛い塩ゼリー
 チャンポンめん; 王道インスタント袋ラーメン
 番傘; ミルク風味の白飴を加賀棒茶生地スイーツ
 どら十万石; 梅鉢紋があしわられた上品な一品
 奥能登塩田村の塩; 手間暇かけた伝統の塩絶品
 ほろり; 口の中でほろほろとける香りの新感覚クッキー
 心の湯けむりラスク; 色鮮やかな一口サイズとろける菓子
 小悪魔のプリンちゃん; 見た目と名前のインパクトが楽しい



いしり

【加賀、金沢、能登半島の伝統工芸お土産】

加賀友禅; 「加賀五彩」といわれる藍、古代紫などの色を基調にして描かれ
 花や、植物、風景など自然をモチーフの武家風デザイン
 牛首紬; 加賀縫; 模様が生地を表裏とも同じ、能登上布; 崇神天皇の皇女
 金澤和傘; 傘の中心部に和紙4種類、糸を二重、三重に張り丈夫な和傘
 手捺染型彫刻; 友禅や小紋の柄や紋様を染めるための型紙彫刻
 九谷焼; さまざま色絵装飾「古久谷風」赤塗「木米風」花鳥山水「庄三風」
 輪島塗; 山中漆器; 漣櫓を使った挽物技術、金沢漆器; 繊細な加飾な加賀蒔絵
 珠洲焼; 粕薬を使わず穴窯で1200度で焼く、大樋焼; 茶道と深くかわる
 茶の湯釜; 金沢箔; 金の輝きを失わず1万分の4ミリ以下、国内生産98%
 和紙; 金沢の加賀奉書、杉原紙。雁皮紙、輪島の画仙紙、桐工芸; 蒔絵加飾
 加賀象嵌; 奥が台形の平象嵌、金沢表具; 竹細工; 鶴来打刃物; 野鍛冶でカマ
 金澤仏壇; 七尾仏壇; 七尾和ろうそく; 加賀毛針; 加賀竿; 加賀水引; など

郷土玩具; 獅子舞、加賀鳶の加賀人形
 姫ダルマの加賀八幡起き上がり
 米喰いねずみ、餅つきうさぎ
 加賀獅子頭、銅鑼、てまり、
 米喰いねずみ



てまり



米喰いねずみ

麻生ふるさと交流会 懇親会

場所…市民交流館やまゆり

【2013年7月14日(土)】

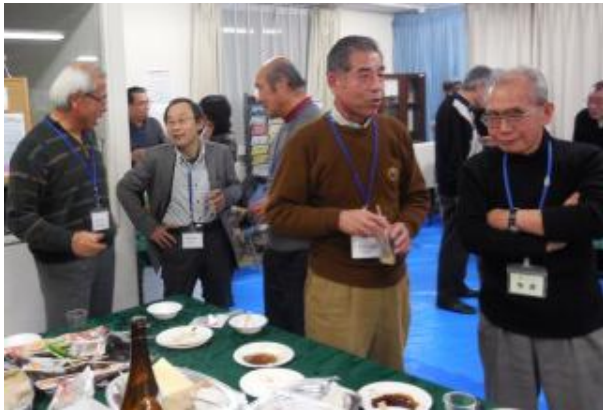


【2014年1月18日(土)】



【2014年3月1日(土)】





【2014年4月29日(土)】



【2014年10月11日(土)】



【2015年1月17日(土)】



【2015年3月1日(土)】



【2015年4月29日(土)】



【2016年1月16日(土)】



【2016年7月23日(土)】



【2016年10月8日(土)】 中途過ぎに宗玄を！

【2017年4月15日(土)】



【2017年7月15日(土)】 不参加

【2017年10月7日(土)】 不参加

【2017年12月9日(土)】 不参加

【2018年2月10日(土)】 不参加

【2018年4月28日(土)】 不参加